

# 工業会活動

## 2021年度 ICCAIA秋期ボード報告

ICCAIAの秋期ボードは世界的な新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、前回と同様にリモート方式で2021年9月27日に開催された。SJACからは専務理事と小職が参加したので、その内容につき以下報告する。

参加者は、議決権を有するメンバーとして、ASD（欧州－議長）、AIA（米国－代理）、AIAC（カナダ）、AIAB（ブラジル）、UAI（ロシア）、SJACの各専務理事であり、準メンバー（議決権無し）として新規に加盟したAAIS（シンガポール）とFEMIA（メキシコ）の各専務理事が参加し、その他にICCAIAのICAO駐在員等が参加した。会議では、AAISとFEMIAの専務理事がICCAIAへの期待と自組織について簡単に説明を行った。（AAISとFEMIAについては概略を後述する。）

1. 今回のボードでの議決事項は以下のとおりである。

- 技術委員会の議長・副議長選任に関し、メンバーの合意を前提に、AIA（米国）、ASD（欧州）以外のメンバーからの就任を先ずは協議する手続きの承認。
- 2021/2022年度の予算案承認（メンバーの負担額は変更なし）。
- 会費支払い通貨の米国ドルからカナダドルへの変更。
- ICCAIAの名称変更は行わないこと（メンバー間の投票により決定）
- ICCAIAのビジョンとミッションの改定

（環境適合性－Sustainableの記載等の追記）及びICCAIAのWEBサイト更新にともなう追加費用の承認。

2. 事務局からの報告事項は以下のとおりである。

- 6/29-30に開催されたICF（the Industry Consultative Forum）の報告。各国政府の推薦で空港、エアライン、メーカー等がリモート形式で参加。参加者のコメントからは予想以上に環境対応が重要なポイントとのことであった。次回は年末か年始に開催予定である。
- 10/12-22開催のICAO会議（HLCC：High Level Conference on Covid）の準備状況の説明。HLCCにおいてICCAIAが発表するコメント（W/P：Working Paper）は、7月末にボードメンバーの承認を経て、英語以外の言語への翻訳版も完成しICAO事務局へ提出済である。
- 2021/7月に各団体の専務理事のサインを得て、エアラインや主要な航空機産業メーカーが参加するATAG（Air Transport Action Group）へ、彼らのボードへICCAIAの参加を求めるレターを出しており、その後の経緯が説明された。

ATAGのボードメンバーの変更があり、ICCAIAへの回答は時間がかかりそうであるとのこと。

- 来年（2022）年9月にICAO総会が予定されており、そこへ向けてICCAIAとして従来通り文書（W/P）を準備していく予定である。2022年3月までにはICAO総会へ提出するW/Pの項目整理とドラフト作成を行っていく予定であるとのこと。

### 3. その他特記事項は以下である。

- EU委員会が今年の8月～9月にかけて実施した、環境課題に対する技術分野に分類についての意見募集へはICCAIAとし

て対応しなかったが、今後の同様な件への対応をどのようにしていくかについてICCAIAのStrategy Committeeにて相談していくこととした。

- 中国のCSAA（Chinese Society of Aeronautics and Astronautics）のICCAIAへの加盟申請の打診があり、産業界を代表していること、政府より独立していること等を示す資料とともに申請が行われたら、ICCAIA内で検討することが報告された。

討議内容をアジェンダ毎に整理した記述を以下に示す。

番号	項目	討議内容
1	Opening and Approval of the Agenda	議事次第の承認と議事の開始。
2	Approval of the minutes (Board Meeting - 24 March 2021)	前回ボード（3月24日実施）の議事録の承認。主な項目は、今後5年間の活動戦略、加盟各国の会員企業が出資する合弁会社の技術専門委員会参加の要件等。
3	Welcome to Associate Members	準会員となったシンガポールとメキシコの挨拶。
4 (議決事項)	Association Participation in I C C A I A C o m m i t t e e Leadership	ICCAIAの技術専門委員会の議長・副議長の選任手続きの明確化。
5	Business Case, Assistant for the ICCAIA Montreal Office	ICCAIAのICAO事務所（カナダ・モントリオール）でのアシスタントの採用。
6 (議決事項)	2020 Financial Results and Approval of 2021 Budget	今年度と来年度の予算承認。
7 (議決事項)	Change of currency for payment of dues	会費支払い通貨の米ドルからカナダドルへの変更。
8 (議決事項)	ICCAIA Name Change	ICCAIAの名称変更。議決の結果、名称の変更は実施しないこととなった。
9 (議決事項)	ICCAIA Communications Policy and Website	ICCAIAのビジョンとミッションの改定（環境適合性－Sustainableの記載等の追記）及びWEBサイトのリニューアル（含む費用）とその運営方針について。
10	High Level Conference on Covid ; Chair’s Interventions	COVID19対応のICAO会議（HLCC）への対応について。
11	Status of the Industry Consultative Forum (ICF)	6月開催のICFの報告と今後の取組み。

番号	項目	討議内容
12	Status of ICCAIA Request for ATAG Board Seat	ATAGのボードにICCAIAとして参加する件について。
13	Agenda of Major ICAO Meetings	2022年秋のICAO総会に向けての各種会議日程について。
14	Any Other Business	EU委員会での環境課題に対する技術分野分類についての意見募集への対応。 中国の団体（CSAA）のICCAIAへの加盟について状況報告。

#### 4. 新規加盟団体について

今回からICCAIAの準会員（Associated Member）となった、シンガポール（AAIS）とメキシコ（FEMIA）の航空宇宙工業会につき、この機会に概略を紹介する。

##### 4.1 シンガポール航空宇宙工業会（AAIS：Association of Aerospace Industries (Singapore)）

会長 Philip Quek 氏（SIA Engineering Company Ltd 上級副社長）、専務理事 Sia Kheng Yok 氏（同工業会HP：<https://aa.is.org.sg/>）

2003年に設立され、シンガポール大手から中小企業までの幅広い会員企業で構成され、政府との関係構築、企業間のビジネスマッチング、国際交流、関連教育支援等を行っている。

同国の航空宇宙産業は2018年に113億シンガポールドル（約9,200億円）規模であり、約130社の企業に約22,000人の雇用を生み出している。

##### 4.2 メキシコ航空宇宙工業会（FEMIA：Federation Mexicana de la Industria Serospacial）

会長 René Espinosa Terrazas 氏（金属加工を行う Metal Finishing Co. 社社長）、専務理事 Luis G. Lizcano 氏（同工業会HP：<https://femiamx.com/#!/inicio-2/>）

約10年前に設立され、会員企業は114社であり、政府との関係構築、業界の意見集約、国際交流、関連教育支援等を行っている。

同国の航空機産業は2019年には86億米ドル（約9,460億円）の輸出額があり、約350社の企業が活動し、若年労働者が多くを占める約6万人の雇用を生み出している。

#### 5. 所感

民間航空機産業は、新型コロナウイルス感染症や環境問題への対応をICAOレベルにおいても活発に行っている。私としてもこのような社会の動きに適切に対応していくために、ICCAIAを通じたICAOへの活動を、今後も関係各位との連携を取りながら進めていきたい。また、ICCAIAとしても情報発信機能を強化するためにWEBページ（<https://iccaia.org/>）の改定も行ったので、この機会に御覧いただきたい。

〔一般社団法人 日本航空宇宙工業会 国際部部長 羽中田 実〕